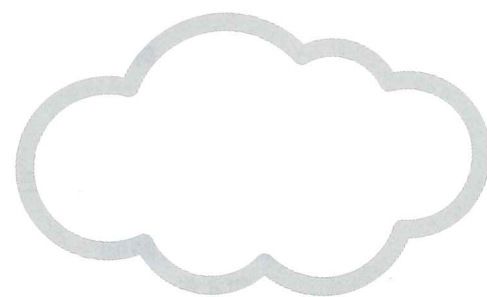


総合



概況

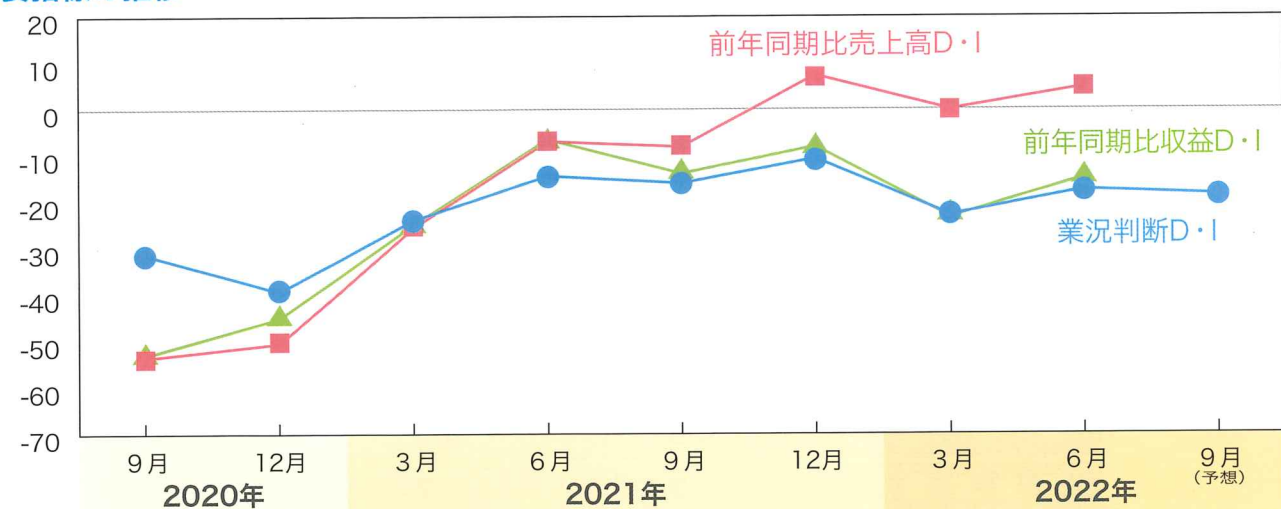
仕入価格高騰、価格転嫁が喫緊の課題に

今期の業況判断指数(D・I値)は、△17.4と前期(1月~3月)より5.4ポイント改善したものの、マイナス圏に止まりました。サービス・運輸・製造・卸売・小売業で上昇、他の3業種で下降しました。売上高D・Iは4.8と前期比4.8ポイント改善。収益D・Iも△14.8ながらも同8.5ポイント改善され、原材料価格等の上昇に対し、価格転嫁を実現している傾向にあると思われます。

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△18.5で今期実績比1.1ポイントの小幅下降の見通しです。業種別では、8業種中、サービス・製造業で下落、残りの6業種で横這いまたはやや改善の見通しです。国際情勢の悪化が原材料価格の上昇に拍車をかけており、下振れリスクの不安が続いています。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	4.4	39.1	26.1	39.1
卸売	14.3	42.9	50.0	64.3
小売	3.6	36.4	40.0	27.3
サービス	△6.7	10.0	30.0	23.4
建設	14.0	34.9	34.9	30.3
不動産	△14.3	14.3	0.0	△14.3
運輸	5.9	17.6	△5.9	11.8
農業	△18.5	△11.1	11.1	14.8

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	43.5	73.9	73.9	56.6
卸売	28.6	71.4	64.3	57.2
小売	14.6	60.0	52.7	38.2
サービス	3.3	36.7	66.7	56.7
建設	30.2	81.4	74.4	67.4
不動産	-	14.3	28.6	0.0
運輸	58.8	100.0	58.8	35.3
農業	7.4	48.1	66.7	51.9

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△39.1	△26.1	△21.7	△21.7
卸売	△14.3	△42.9	△35.7	△35.7
小売	△25.5	△14.5	△16.4	△20.0
サービス	△16.7	△30.0	△40.0	△40.0
建設	△32.6	△27.9	△41.9	△44.2
不動産	△14.3	△14.3	0.0	0.0
運輸	△52.9	△52.9	△52.9	△58.8
農業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	0.0	△17.4	△4.3	4.4
卸売	7.1	-	-	-
小売	△9.1	△3.7	△9.1	△10.9
サービス	0.0	△3.4	13.4	3.3
建設	11.7	4.7	2.3	4.6
不動産	-	-	-	-
運輸	0.0	0.0	△11.8	5.9
農業	-	-	-	-

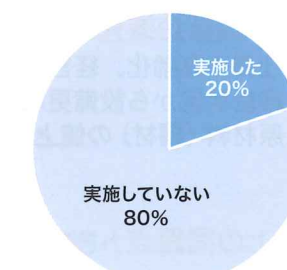
○借入金の動き・難易度

	借入金の実施		民間金融機関からの借入難易度			
	した	ある	容易	変わらない	難しい	該当なし
製造	17.4	17.4	8.7	65.2	17.4	8.7
卸売	35.7	7.1	35.7	64.3	-	-
小売	20.0	9.1	1.8	78.2	7.3	12.7
サービス	26.7	20.7	6.7	76.7	3.3	13.3
建設	23.3	18.6	27.9	58.1	7.0	7.0
不動産	-	14.3	14.3	71.4	-	14.3
運輸	35.3	17.6	17.6	64.7	11.8	5.9

○設備投資の動き

	前年同期	前期	今期	実施予定
製造	17.4	4.3	13.0	13.0
卸売	7.1	28.6	21.4	7.1
小売	5.5	7.3	12.7	9.1
サービス	13.3	3.3	23.3	20.0
建設	7.0	9.3	23.3	14.0
不動産	-	-	-	-
運輸	17.6	11.8	35.3	23.5
農業	7.4	7.4	11.1	11.1

2022年4月~6月期 設備投資



今後3ヶ月以内 設備投資計画

